

システムキッチン 取付・設置説明書

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

もくじ	1	各部の名称	2
	2	安全上のご注意	3・4
	3	取付・設置上のお願い	5
	4	付属部品の確認	5
	5	取付・設置の手順	
		1.設置前の準備と確認	
		(1) レンジフード取付用天井下地の寸法と位置のイメージ	6
		(2) 床面の仕上げの確認および強度確認	7
		(3) 給水・給湯・排水口・ガス配管・電気配線・排気口の確認	7
		2.製品の設置手順	
		左ページ: 国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプラン	
		右ページ: 海外食器洗い乾燥機プラン	
		(1)左 (1)右 台輪の設置	8・9
		(2)左 (2)右 フロアーキャビネットの取付	10 ~ 21
		(3)左 (3)右 ワークトップの取付	22・23
		(4)左 (4)右 食器洗い乾燥機の設置事前準備	24・25
		※台輪着脱可能部分の取り扱いを含む	
		(5)共通 排水トラップ、排水ホースの取付	26
		(6)共通 各設備機器類の取付	27
		3.開き扉・引出等の調整方法	
		(1) 開き扉の調整方法	28
		(2) テーパー付き開き扉の調整方法	29
		(3) 引出の調整方法	30
		(4) 棚板の取付、取外し方法	31
		4.機器類の設置、ガス・水道・電気工事	32
	6	仕上げ	33
	7	点検	34
	8	完了後の処理	34
	9	残材処理	34

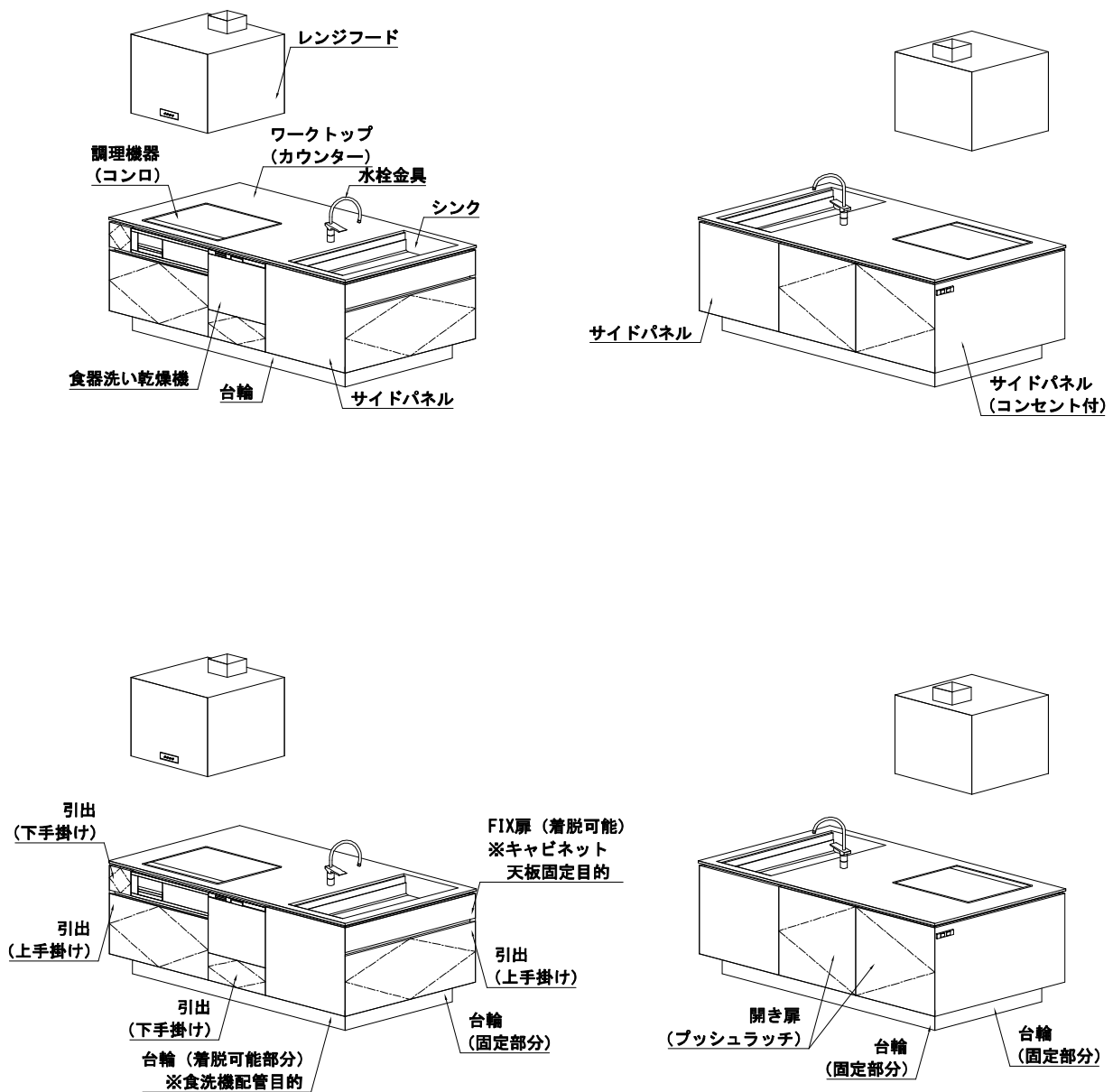
1

各部の名称

(1) システムキッチン

下図は、オリジナルキッチンの

国産浅型食器洗い乾燥機プラン 右勝手の場合の模式図です



2 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人事事故や、家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」をいう



注意

この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害発生が想定される内容」をいう

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



禁止

このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



実行

このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

取付・設置上のご注意



警告

電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」が行う。



火災・感電・ガス漏れ・水漏れの恐れがあります。

キッチンに取り込まれる電気工事・換気フード・水栓金具等については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。



思わぬ事故や故障の原因となることがあります。

2

安全上のご注意

 注意	
取付・設置完了後は扉の傾き、がたつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。扉が傾いたり、がたつきがある時は丁番のネジを締めなおす。 使用中に扉が落下して、けがをする恐れがあります。	
キャビネットに乗らない。 製品が変形したり、落下してけがをする恐れがあります。	
製品は水平で平滑な床面にしっかりと固定する。 製品が倒れてけがをする恐れがあります。 また、扉の段違いや引出しのふぞろいが生ずる恐れがあります。	
排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部のシールは確実に行う。 水漏れしたり、湿気が上がり床が腐る恐れがあります。	
排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない。 排水能力が低下して、シンクから水があふれて、床を汚す恐れがあります。	
設置時に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示に従って正しく使う。 誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。	
絶対に分解したり、修理・改造したりしない。 落下して、けがの原因となります。	

3 取付・設置上のお願い

お願い

運搬中ぶつけないように注意してください。また運搬は2人以上で行ってください。



製品および周辺設備が破損したり、傷がつき、使用できなくなる恐れがあります。

取付・設置中はワークトップを養生して、製品を保護してください。



くぎやネジ類が落ちてきた場合、表面に傷がつく恐れがあります。

清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。



その他の洗剤およびベンジン・シンナー・ガソリン・みがき粉等の洗剤を使用すると、製品の変色・変質の原因となります。

4 付属部品の確認

■ 取付・設置に必要な付属品(同梱)は以下の通りとなります。

	付属キャビネット	品名	ネジ仕様
1	シンクベース ビスセット 付W-07×4 付W-33×3 G-15×1 G-22×1 + コーススレッド Φ3.8×32 ×8本	ワークトップ固定ネジ 連結用ネジ(キャビネット横連結) シンクサイドパネル固定用 台輪床固定用 台輪不陸調整材	AトラスTPネジ Φ3.5×12 ユニクロ 皿木ネジ Φ4.1×28 ユニクロ コーススレッド Φ3.8×32 ユニクロ A丸木ネジ Φ3.5×25 SUS クサビ14 連結ワッシャー Φ5.3 ユニクロ ビスキャップ 黒

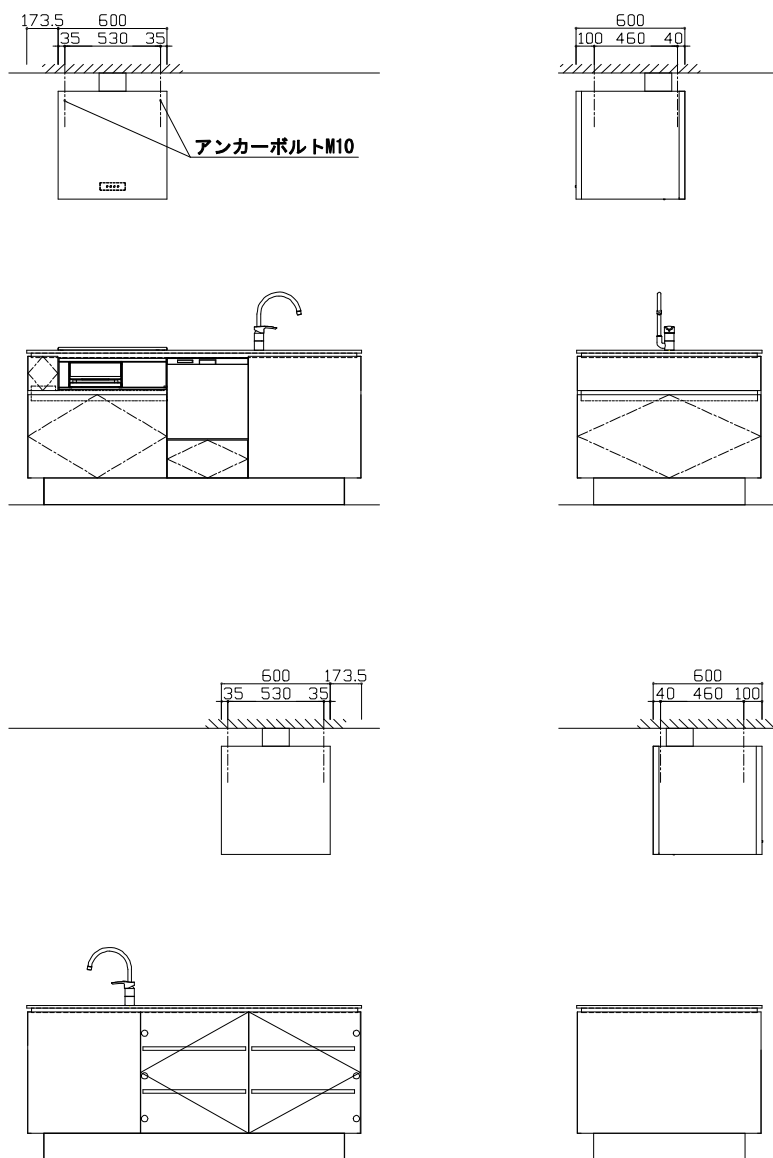
5

取付・設置の手順

1.設置前の準備と確認

(1) レンジフード取付用天井下地の寸法と位置のイメージ

下記位置はプランおよび取り付けする機器類によって異なります。



- 調理機器およびレンジフード周辺の商品の設置については、各種地方条例、建築基準法などの規制があります。キッチンをプランされるときは事前に所轄の官公庁に必ず確認してください。



警告

天井面には、必ず施工前にアンカー吊り用の補強材が強固に固定されていることを確認する。
補強材は腐れのない補強材を使用する。

補強材の取付が不完全な場合、レンジフードが落下してけがをする恐れがあります。

(2) 床面の仕上げの確認および強度確認

- 製品搬入前に床面を仕上げておいてください。
- 床面は製品の荷重に耐えられることを確認し水平で平滑に仕上げてください。

⚠ 注意

設置する床面の木クズ・ゴミは取り除く。



床面が水平でなかったり異物があると、扉の段違いを生ずる恐れがあります。

製品の、水平で平滑な床面にしっかりと固定する。



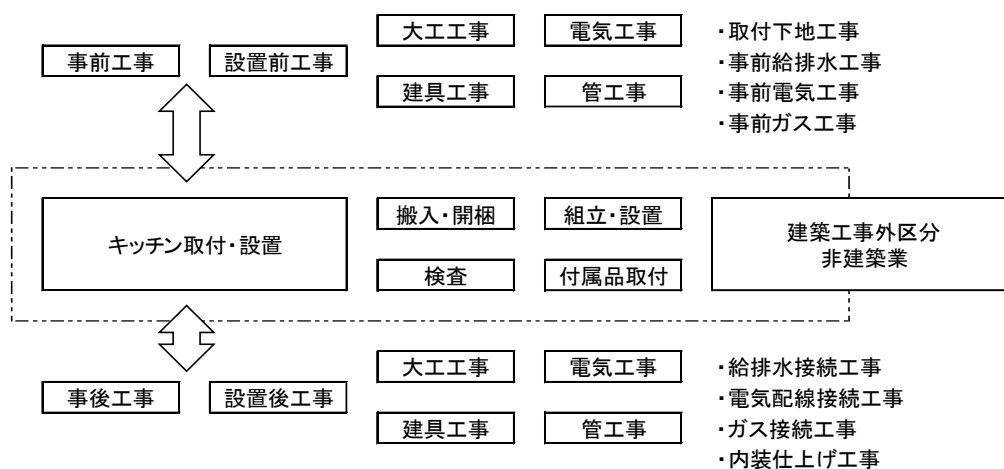
製品が倒れて、けがをする恐れがあります。また、扉の段違いや引出しの不揃いを生じる恐れがあります。

工事区分

⚠ 警告

本説明書は、キッチンの本体取付、設備と関連工事（建築工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などを区分して説明しています。
建築工事は関連する法令、規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして、「本体の取付・設置」を行う場合は、建築工事部分と「キッチン本体取付・設置」を区分して行ってください。 <下図>

キッチンの取付・設置とユニット工事区分



(3) 給水・給湯・排水口・ガス配管・電気配線・排気口の確認

- 給水・給湯・排水口・ガス配管・電気配線・排気口位置は別途取付・設置図を参照して建屋工事の段取りに合わせて工事依頼してください。

2.製品の設置手順

(1)左 台輪の設置(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)

①着脱可能部分の取り外し

台輪の着脱可能部分を取り外さないまま、床に台輪の設置を開始して構いません。
そのまま続けても、食洗機の配管施工が可能 / もしくは配管施工自体がないプランです。
着脱可能部分を取り外さないで施工がしづらい場合は、必要に応じて取り外してください。

②台輪の位置出しと床固定

邸別図面の正面図④や断面図、平面図を参照しながら、台輪の位置出しを行います。

設置向き

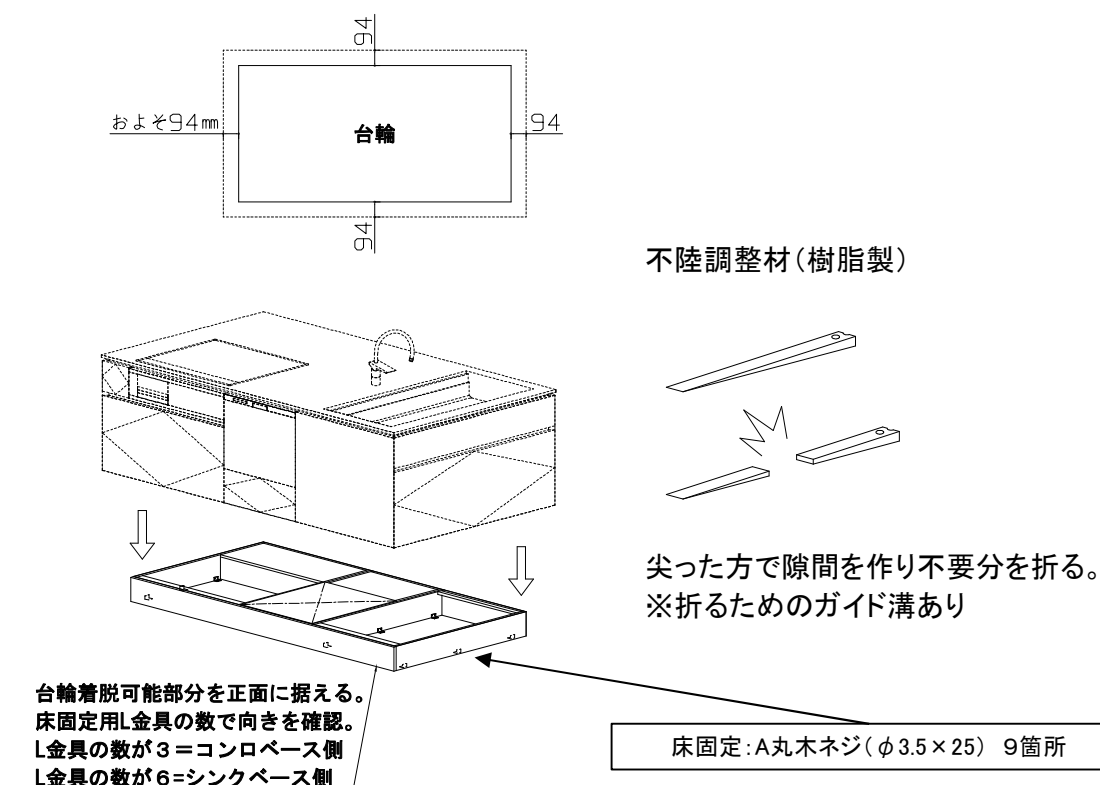
台輪着脱可能部分の面がコンロベースの正面にあたります。
台輪内側壁面に取り付けられている床固定用のL金具を数え、
3つある方がコンロベース側、6つある方がシンクベース側であることをご確認ください。

設置位置

天板外周からおよそ94mm内側に台輪を設置をします。

※天板サイズW1850xD1025に対して、台輪サイズがW1663xD838

指定位置に台輪の向きと位置を合わせた上で、丸木ネジ(φ3.5×25)を使用し、
床に台輪を設置してください。必要に応じて不陸調整材をご使用ください。



⚠ 注意

適切なネジを使用せずに取り付けると、使用中にキャビネットが移動してしまい
けがをする恐れがあります。



①着脱可能部分の取り外し

※着脱可能部分の取り付け方/取り外し方は pp.24-25を参考にしてください

邸別図面の正面図④や断面図、平面図を参照しながら、台輪の位置出しを行います。

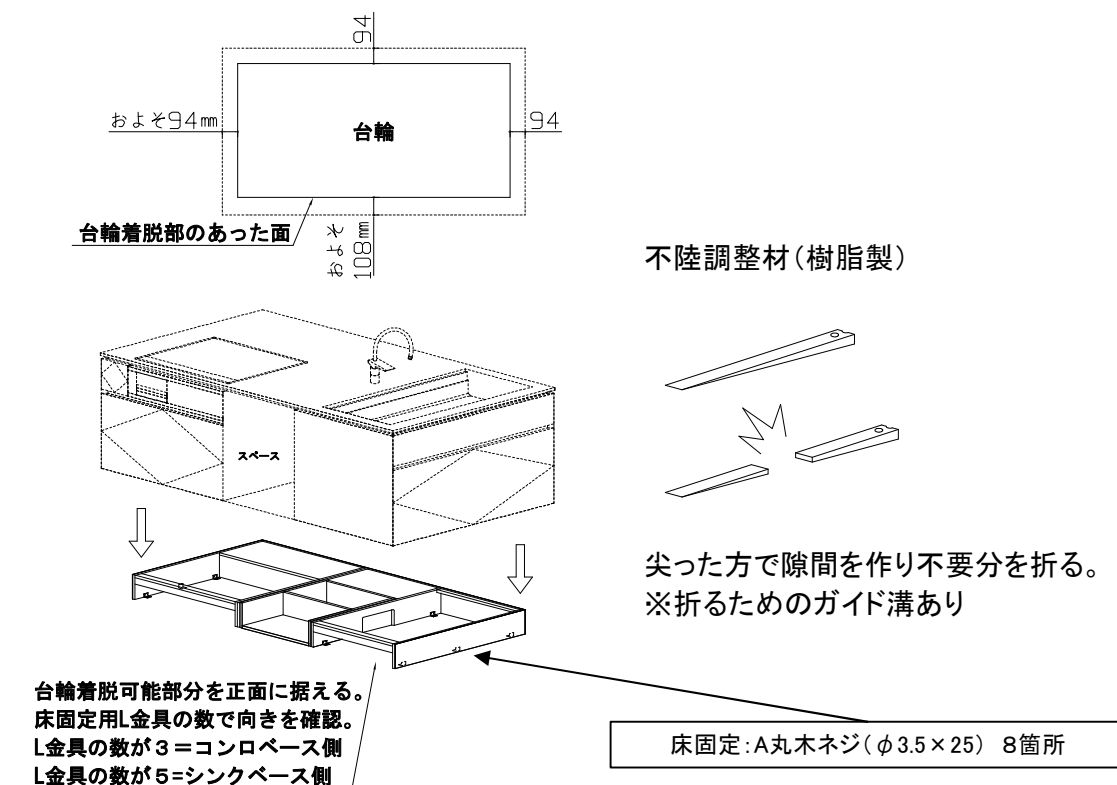
台輪着脱可能部分の面がコンロベースの正面にあたります。

台輪内側壁面に取り付けられている床固定用のL金具を数え、

3つある方がコンロベース側、5つある方がシンクベース側であることをご確認ください。

※天板サイズW1850xD1025に対して、着脱部なしの台輪サイズがW1662xD823

指定位置に台輪の向きと位置を合わせた上で、丸木ネジ(φ3.5×25)を使用し、床に台輪を設置してください。



 注意

適切なネジを使用せずに取り付けると、使用中にキャビネットが移動してしまい
けがをする恐れがあります。



(2)左 フローアークャビネットの取付(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)

①扉・引出しの取り外し

キャビネットに取り付けてある扉・引出を取り外し、養生した床面に置いてください。
※着脱可能部分の取り付け方/取り外し方は pp.24-25を参考にしてください

②キャビネット・サイドパネル設置順番の確認

以下の順番を参考に設置を行ってください。

- ②-1. シンクベースにサイドパネルを取り付けます。※左右1枚ずつ
- ②-2. 開きベースを台輪に仮固定します。ワッシャーは使用してください。
- ②-3. サイドパネル付きシンクベースを開きベースに横連結します。
- ②-4. コンロベースを開きベースに横連結します。
- ②-5. 台輪にビス固定されている4mmのベニヤ板を外します。(t4×W450×D534)
- ②-6. 外したスペースに食器洗い乾燥機下台または調理ベースを入れ横連結をします。
- ②-7. 台輪に完全固定する前に、横連結したキャビネット同士のとりあいを調整します。
- ②-8. キャビネットを台輪に固定します。化粧キャップを取り付けます。
- ②-9. コンセント開口付サイドパネルを取り付けます。

②-1. について

養生した床面の上で、シンクベースにサイドパネルを取り付けます。

取付向き

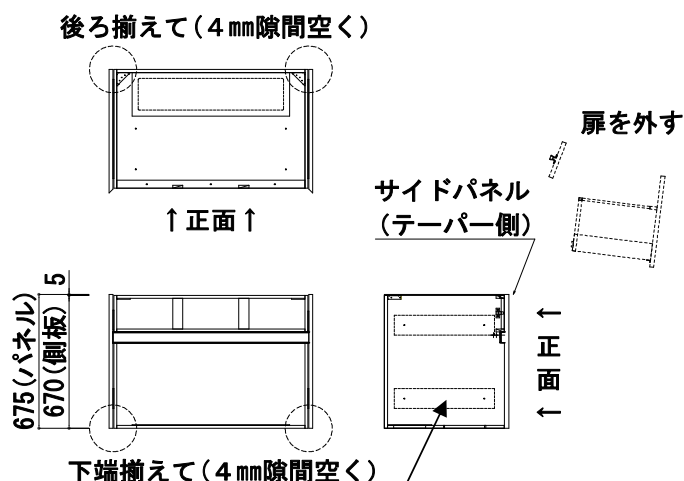
パネルのテーパー側を
シンクベース正面に向けます。

位置合わせ前後

シンクベース側板後方と
パネルのテーパー反対側
を揃えます。

位置合わせ上下

シンクベース側板下端と
パネル下端を揃えます。
パネルは5mm上に飛び出ます。



パネル連結:コーススレッド(φ3.8×32) 左右4箇所ずつ

ビス固定の位置決めは、シンクベース側板内側に開いた下穴をお使いください。
キャビネット内部より、コーススレッド(φ3.8×32)を使用し、キャビネットとパネルを連結し、
化粧キャップを付けてください。

⚠ 注意

パネルは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。



適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にパネルが外れて、
けがをする恐れがあります。

(2)右 フローアークャビネットの取付(海外食器洗い乾燥機プランの場合)

①扉・引出しの取り外し

キャビネットに取り付けてある扉・引出を取り外し、養生した床面に置いてください。
※着脱可能部分の取り付け方/取り外し方は pp.24-25を参考にしてください

②キャビネット・サイドパネル設置順番の確認

以下の順番を参考に設置を行ってください。

- ②-1. シンクベースにサイドパネルを取り付けます。※左右1枚ずつ
- ②-2. 開きベースを台輪に仮固定します。ワッシャーは使用してください。
- ②-3. サイドパネル付きシンクベースを開きベースに横連結します。
- ②-4. コンロベースを開きベースに横連結します。
- ②-5. (手順対象外)
- ②-6. (手順対象外)
- ②-7. 台輪に完全固定する前に、横連結したキャビネット同士のとりあいを調整します。
- ②-8. キャビネットを台輪に固定します。化粧キャップを取り付けます。
- ②-9. コンセント開口付サイドパネルを取り付けます。

②-1. について

養生した床面の上で、シンクベースにサイドパネルを取り付けます。

取付向き

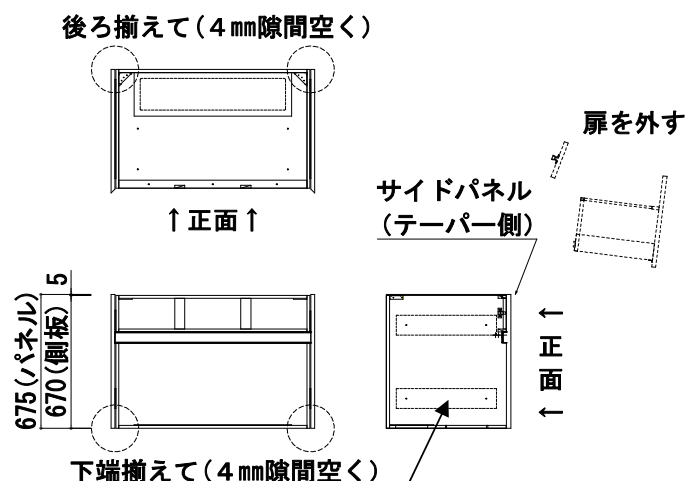
パネルのテーパー側を
シンクベース正面に向けます。

位置合わせ前後

シンクベース側板後方と
パネルのテーパー反対側
を揃えます。

位置合わせ上下

シンクベース側板下端と
パネル下端を揃えます。
パネルは5mm上に飛び出ます。



パネル連結:コーススレッド(φ3.8×32) 左右4箇所ずつ

ビス固定の位置決めは、シンクベース側板内側に開いた下穴をお使いください。
キャビネット内部より、コーススレッド(φ3.8×32)を使用し、キャビネットとパネルを連結し、
化粧キャップを付けてください。

⚠ 注意

パネルは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。



適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にパネルが外れて、
けがをする恐れがあります。

(2)左 フローアークャビネットの取付(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)
続き

②-2.1について

開きベースを台輪に仮固定します。(開きベースの片端が70mm程度台輪からはみ出ます)

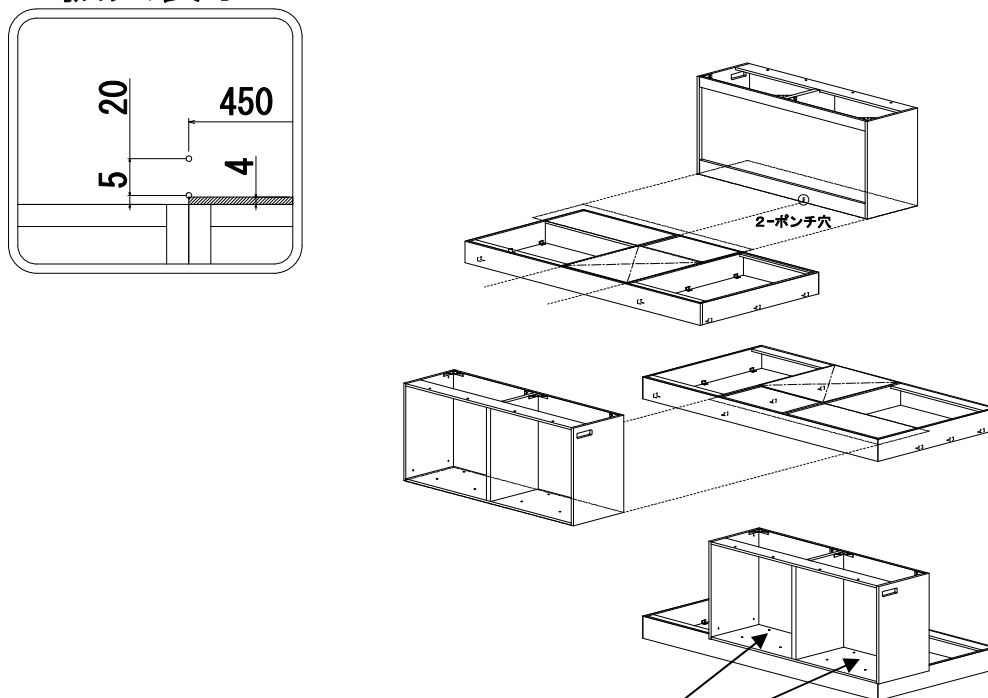
取付向き・位置合わせ左右

台輪の上にビス固定されたベニヤ板(厚さ4mm)を基準に、取付向きと左右位置を考えます
台輪の着脱可能部分を手前にして、ベニヤ板の片端を開きベースの側板に合わせ、
ベニヤ板のもう片端は開きベースの背板についているポンチ穴に合わせます。

位置合わせ前後

開きベースを、台輪の上にビス固定されたベニヤ板(厚さ4mm)に押し当てた位置です。

拡大表示



台輪への仮固定: 皿木ネジ(φ4.1×28) 最大8箇所

台輪への仮固定の位置決めは、開きベース底板に開いた下穴をお使いください。
キャビネット内部より、皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、キャビネットと台輪を連結します。
※現段階では仮固定が目的のため、2～3箇所を仮固定します。
※化粧キャップの取付は②-8ですので、ビスとワッシャーだけでの仮固定となります

⚠ 注意

キャビネットは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。

適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にパネルが外れて、
けがをする恐れがあります。



(2)右 フローアークャビネットの取付(海外食器洗い乾燥機プランの場合)

続き

②-2.1について

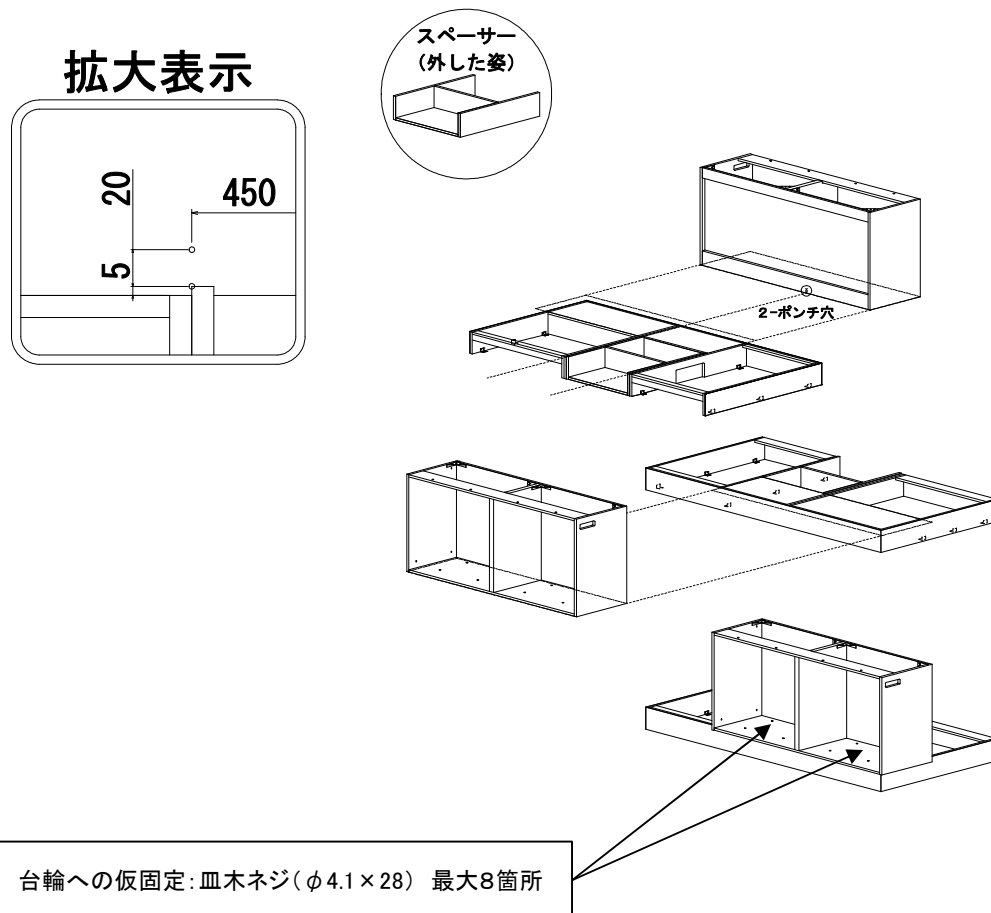
開きベースを台輪に仮固定します。(開きベースの片端が70mm程度台輪からはみ出ます)

取付向き・位置合わせ左右

スペーサー(台輪の5mm出っ張っている部分)を基準に、取付向きと左右位置を考えます。
台輪の着脱可能部分を手前にして、スペーサーの片端を開きベースの側板に合わせ、
スペーサーのもう片端は開きベースの背板についているポンチ穴に合わせます。

位置合わせ前後

開きベースを、スペーサーに押し当てた位置です。



台輪への仮固定の位置決めは、開きベース底板に開いた下穴をお使いください。
キャビネット内部より、皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、キャビネットと台輪を連結します。
※現段階では仮固定が目的のため、2～3箇所を仮固定します。
※化粧キャップの取付は②-8ですので、ビスとワッシャーだけでの仮固定となります

⚠ 注意

キャビネットは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。



適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にキャビネットが動いて、
けがをする恐れがあります。

(2)左 フローアークャビネットの取付(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)
続き

②-3.について

サイドパネル付きシンクベースを開きベースに横連結します。

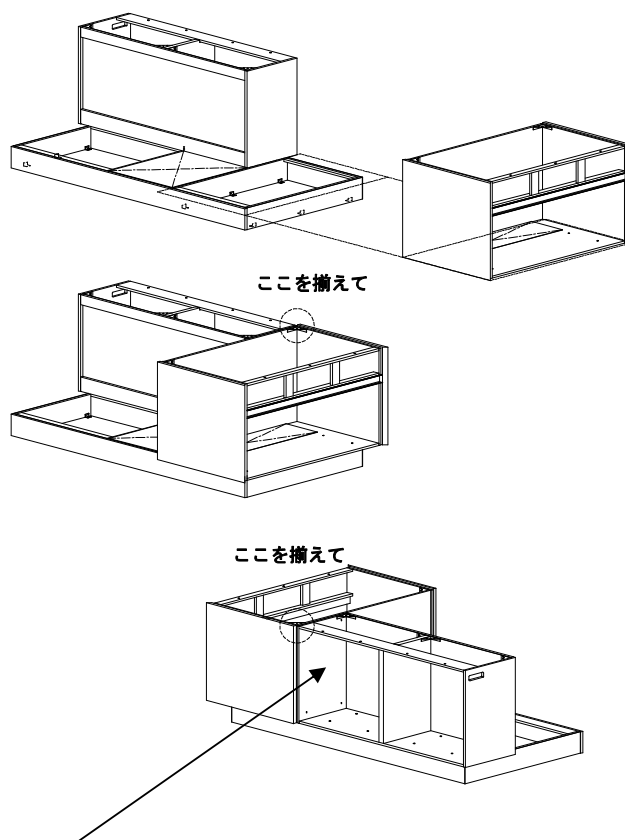
取付向き・位置合わせ前後

シンクベースの背板を、開きベースの側板に横連結をします。

前後位置はシンクベースを、開きベースの側板に押し当てた位置です。

位置合わせ左右

シンクベースの側板外面と、開きベースの側板正面木口が揃うように位置調整をします。



キャビネット横連結: 皿木ネジ(φ4.1×28) 4箇所

ビス固定の位置決めは、開きベース側板内面に開いた下穴をお使いください。
キャビネット内部より、皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、キャビネット同士を連結し、
化粧キャップを付けてください。

 注意

キャビネットは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。



適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にキャビネットが動いて、
けがをする恐れがあります。

(2)右 フローアークャビネットの取付(海外食器洗い乾燥機プランの場合)

続き

②-3.について

サイドパネル付きシンクベースを開きベースに横連結します。

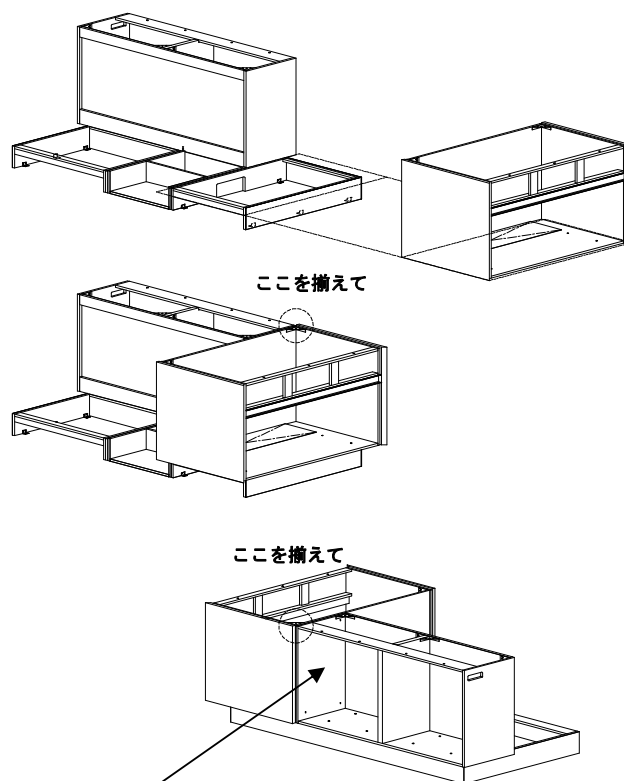
取付向き・位置合わせ前後

シンクベースの背板を、開きベースの側板に横連結をします。

前後位置はシンクベースを、開きベースの側板に押し当てた位置です。

位置合わせ左右

シンクベースの側板外面と、開きベースの側板正面木口が揃うように位置調整をします。



キャビネット横連結: 皿木ネジ(φ4.1×28) 4箇所

ビス固定の位置決めは、開きベース側板内面に開いた下穴をお使いください。
キャビネット内部より、皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、キャビネット同士を連結し、化粧キャップを付けてください。

 注意

キャビネットは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。



適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にキャビネットが動いて、
けがをする恐れがあります。

(2)左 フローアークャビネットの取付(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)
続き

②-4.について

コンロベースを開きベースに横連結します。

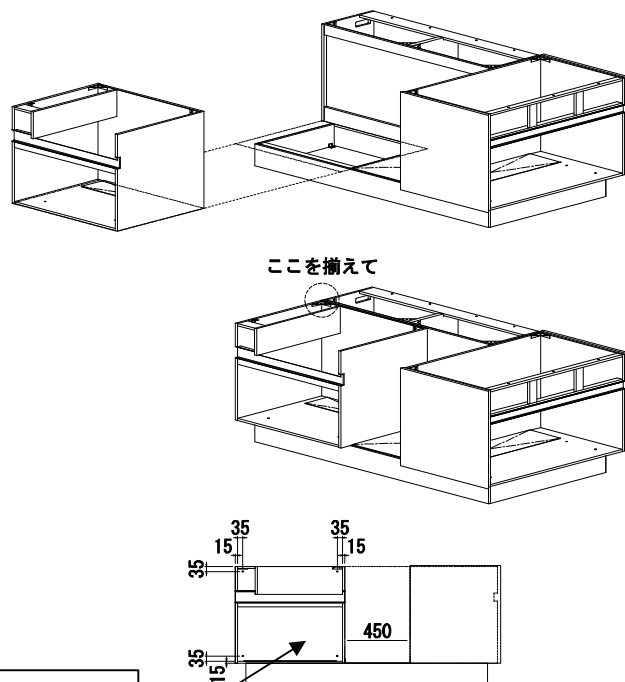
取付向き・位置合わせ前後

コンロベースの背板を、開きベースの背板に横連結をします。

前後位置はコンロベースを、開きベースの背板に押し当てた位置です。

位置合わせ左右

コンロベースの側板外面と、開きベースの側板外面が揃うように位置調整をします。



キャビネット横連結:
皿木ネジ(φ4.1×28) 4箇所
※下穴なし注意※

ビス固定の位置決めは、上図を参考にお願いします。 ※下穴はありません
キャビネット内部より、皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、キャビネット同士を連結し、
化粧キャップを付けてください。

⚠ 注意

キャビネットは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。

適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にキャビネットが動いて、
けがをする恐れがあります。



(2)右 フローアークャビネットの取付(海外食器洗い乾燥機プランの場合)

続き

②-4.について

コンロベースを開きベースに横連結します。

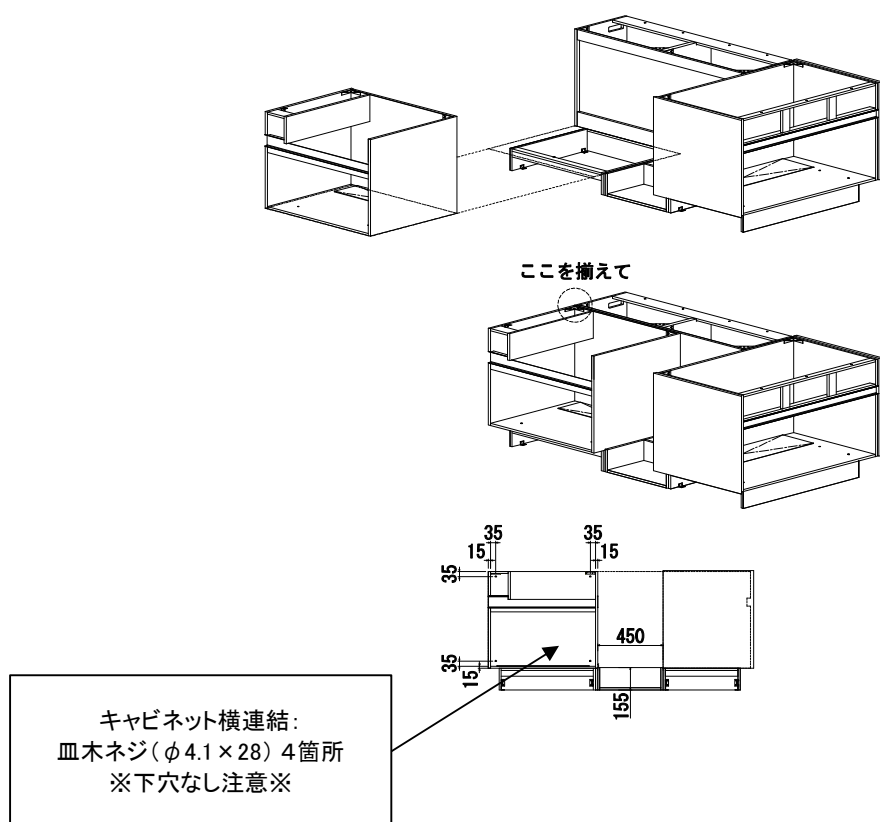
取付向き・位置合わせ前後

コンロベースの背板を、開きベースの背板に横連結をします。

前後位置はコンロベースを、開きベースの背板に押し当てた位置です。

位置合わせ左右

コンロベースの側板外面と、開きベースの側板外面が揃うように位置調整をします。



ビス固定の位置決めは、上図を参考にお願いします。 ※下穴はありません
キャビネット内部より、皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、キャビネット同士を連結し、化粧キャップを付けてください。

⚠ 注意

キャビネットは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。

適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にキャビネットが動いて、
けがをする恐れがあります。



(2)左 フローアークャビネットの取付(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)
 続き

②-5.について

台輪にビス固定されている4mmのベニヤ板を外します。(t4×W450×D532)

※外したベニヤ板とビスは以後使いませんので破棄してください

②-6.について

外したスペースに食器洗い乾燥機下台または調理ベースを入れ横連結をします。

取付向き・位置合わせ前後左右

ベニヤ板を外した450mmのスペースに、対象のキャビネットを入れます。

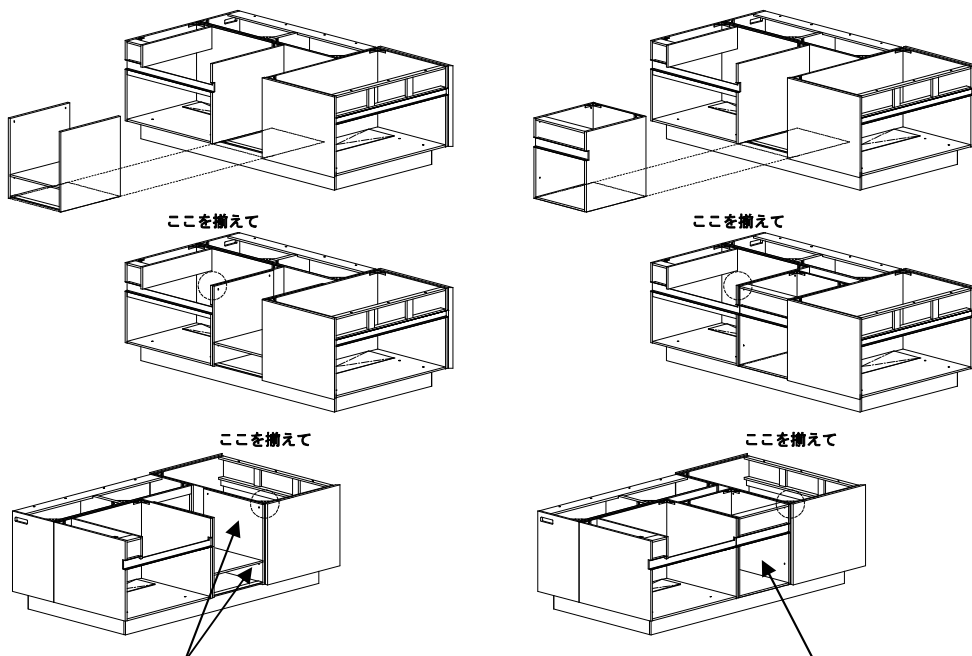
このとき、側板正面木口が次の2つのどちらとも揃うように調整します。

1つ目:コンロベースの側板正面木口

2つ目:シンクベースの側板外面

※調整が仕切れない場合は、横連結しているビスを緩める等で対応してください

※キャビネット後方に105mm前後のスペースが空きます



キャビネット横連結:皿木ネジ(φ4.1×28)計8箇所
 ※食器洗い置き面より上の左右4つにワッシャーにつけない※

キャビネット横連結:皿木ネジ(φ4.1×28)計8箇所
 (通常通り、全てに化粧キャップを付けてよい)

ビス固定の位置決めは、上図を参考をお願いします。 ※下穴はありません
 キャビネット内部より、皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、キャビネット同士を連結し、
 化粧キャップを付けてください。

※食器洗い乾燥機下台の一部にはワッシャー・化粧キャップをつけない

⚠ 注意

キャビネットは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。

適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にキャビネットが動いて、
 けがをする恐れがあります。



(2)右 フロアーキャビネットの取付(海外食器洗い乾燥機プランの場合)

続き

②-5.について

(手順対象外)

(スぺーサーは天板取付後に海外食器洗い乾燥機を入れる直前で取り外します)

②-6.について

(手順対象外)

(2)左 フローアークャビネットの取付(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)
続き

②-7.について

台輪に完全固定する前に、横連結したキャビネット同士のとりあいを調整します。
※調整が仕切れない場合は、横連結しているビスを緩める等に対応してください

②-8.について

キャビネットを台輪に固定します。**化粧キャップを取り付けます。**
※ワッシャーを入れ忘れた場合は一度ビスを外し、改めて取付をお願いします。

②-9.について

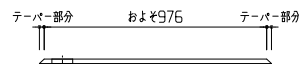
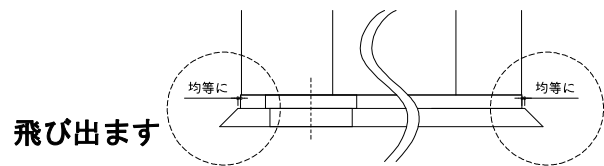
コンセント開口付サイドパネルを取り付けます。

取付向き

テーパ部分が取付内面です。

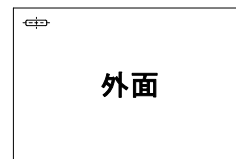
位置合わせ左右

左右均等に位置合わせします。
この時、サイドパネル内面の
テーパ部分でない部分が
キャビネット取付部分に対して
およそ3mm飛び出ます。



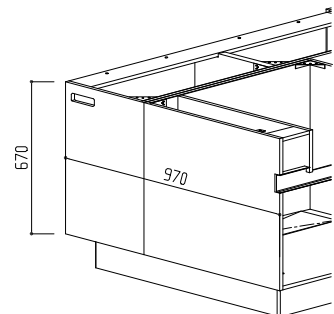
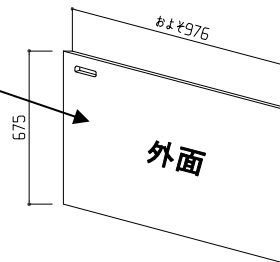
位置合わせ上下

キャビネット下端に
パネル下端を揃えます。
パネルは5mm上に飛び出ます。



パネル連結:
皿木ネジ(φ4.1×28) 6箇所
※下穴なし注意※

ビス固定の位置決めは
適宜お願いします。
キャビネット内部より、
皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、
キャビネットとパネルを連結し、
化粧キャップを付けてください。



※②-1. のシンクベースの時とは異なり、コンセント開口サイドパネルの取付箇所には
フカシ材がありませんので、どの位置でも問題なく取り付けいただくことが可能です

⚠ 注意

パネルは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。



適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にパネルが外れて、
けがをする恐れがあります。

(2)右 フローアークャビネットの取付(海外食器洗い乾燥機プランの場合)

続き

②-7.について

台輪に完全固定する前に、横連結したキャビネット同士のとりあいを調整します。
※調整が仕切れない場合は、横連結しているビスを緩める等に対応してください

②-8.について

キャビネットを台輪に固定します。**化粧キャップを取り付けます。**
※ワッシャーを入れ忘れた場合は一度ビスを外し、改めて取付をお願いします。

②-9.について

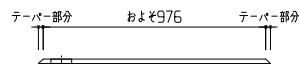
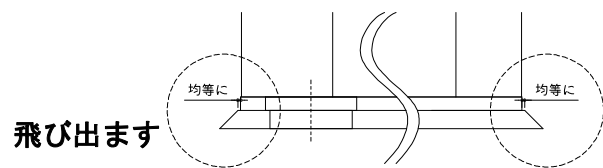
コンセント開口付サイドパネルを取り付けます。

取付向き

テーパ部分が取付内面です。

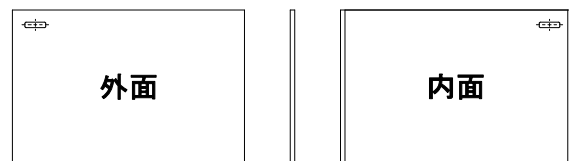
位置合わせ左右

左右均等に位置合わせします。
この時、サイドパネル内面の
テーパ部分でない部分が
キャビネット取付部分に対して
およそ3mm飛び出ます。



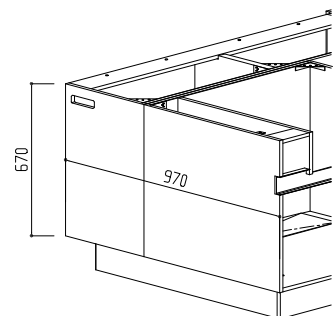
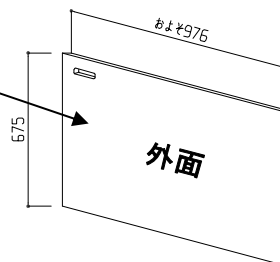
位置合わせ上下

キャビネット下端に
パネル下端を揃えます。
パネルは5mm上に飛び出ます。



パネル連結:
皿木ネジ(φ4.1×28) 6箇所
※下穴なし注意※

ビス固定の位置決めは
適宜お願いします。
キャビネット内部より、
皿木ネジ(φ4.1×28)を使用し、
キャビネットとパネルを連結し、
化粧キャップを付けてください。



※②-1. のシンクベースの時とは異なり、コンセント開口サイドパネルの取付箇所には
フカシ材がありませんので、どの位置でも問題なく取り付けいただくことが可能です

⚠ 注意

パネルは、必ず商品に同梱している専用のネジで取付けしてください。

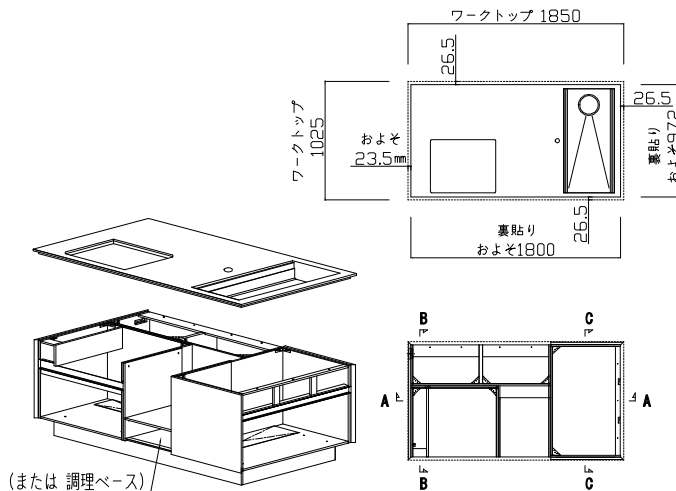


適切なネジを使用せずに取付けすると、使用中にパネルが外れて、
けがをする恐れがあります。

(3)左 ワークトップの取付(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)

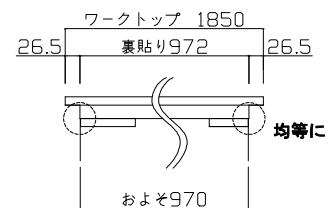
①ワークトップの位置決め左右(A-A断面)

ワークトップとキャビネットの接地面に対してパネルが5mm飛び出ていることに注意しながら
コンセント開口付サイドパネル内面にワークトップ裏貼りを押し当てるように仮置きをします。
※反対側のワークトップ裏貼りがキャビネットより僅かに飛び出しますが設計通りです

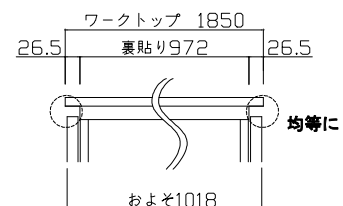


②～位置決め前後
(B-B断面、C-C断面)
均等になるように
前後位置を調整します。

B-B：開きベース断面 ～ コンロベース断面



C-C：シンクベース+左右サイドパネル



A-A：コンセント開口付サイドパネル
～ シンクベース



コンセント開口付サイドパネルの内面に
天板裏貼りを押し当て位置調整する。

③ワークトップの固定(金物部分について)

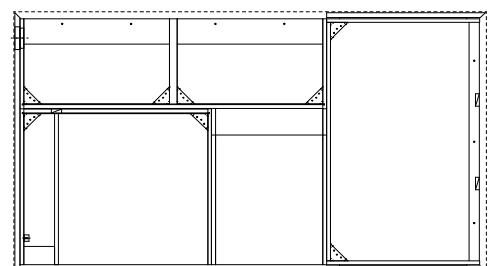
キャビネット内面に取付けされているL金具・スミ金具より、ワークトップへ向かって
トラスTP(φ3.5×12)を使用し、固定してください。

④ワークトップの固定(横桟部分について)

開きベース・シンクベースの横桟に
天板固定用下穴が7箇所(4箇所・3箇所)
開いているので、ワークトップへ向かって
皿木ネジ(φ4.1×28)を使用して固定し、
化粧キャップを付けてください。

※食洗器なしプランでは調理ベースに
天板固定用下穴が2箇所あります。

下図は国産浅型食器洗い乾燥機プラン



⚠ 注意

固定ネジは必ず指定のネジを使用する。

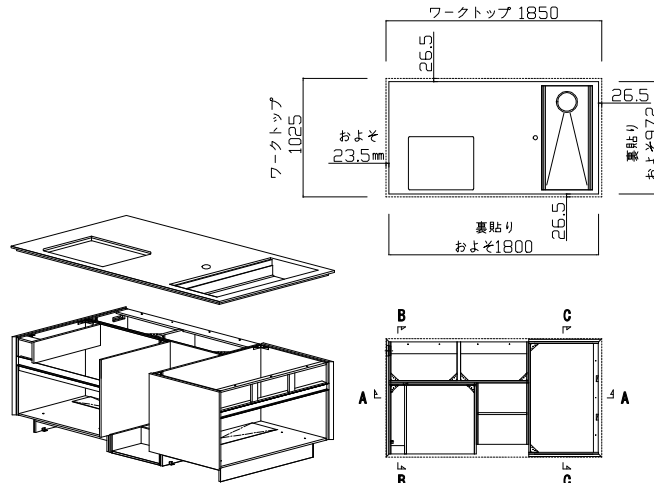
指定外のネジを使用するとネジが貫通してワークトップにキズ・割れが生じます。



(3)右 ワークトップの取付(海外食器洗い乾燥機プランの場合)

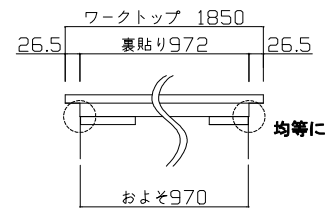
①ワークトップの位置決め左右(A-A断面)

ワークトップとキャビネットの接地面に対してパネルが5mm飛び出ていることに注意しながらコンセント開口付サイドパネル内面にワークトップ裏貼りを押し当てるように仮置きをします。
※反対側のワークトップ裏貼りがキャビネットより僅かに飛び出しますが設計通りです

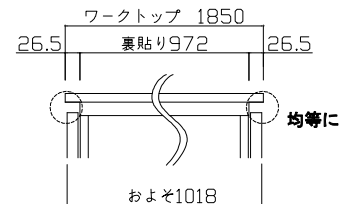


②～位置決め前後
(B-B断面、C-C断面)
均等になるように
前後位置を調整します。

B-B：開きベース断面 ～ コンロベース断面



C-C：シンクベース+左右サイドパネル



A-A：コンセント開口付サイドパネル
～ シンクベース



コンセント開口付サイドパネルの内面に
天板裏貼りを押し当て位置調整する。

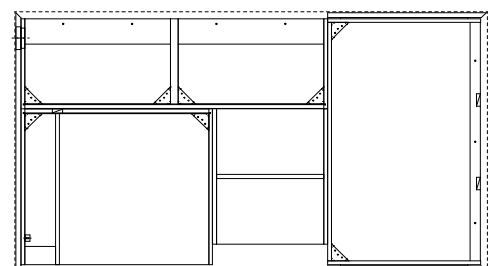
③ワークトップの固定(金物部分について)

キャビネット内面に取付けされているL金具・スミ金具より、ワークトップへ向かってトラスTP(φ3.5×12)を使用し、固定してください。

④ワークトップの固定(横桟部分について)

開きベース・シンクベースの横桟に
天板固定用下穴が7箇所(4箇所・3箇所)
開いているので、ワークトップへ向かって
皿木ネジ(φ4.1×28)を使用して固定し、
化粧キャップを付けてください。

下図は海外食器洗い乾燥機プラン



⚠ 注意

固定ネジは必ず指定のネジを使用する。

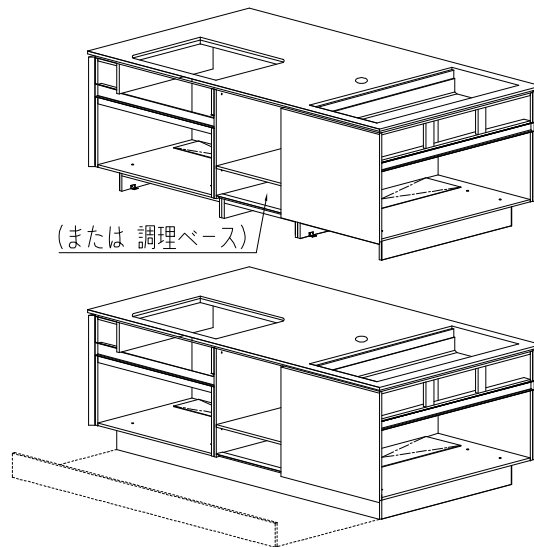
指定外のネジを使用するとネジが貫通してワークトップにキズ・割れが生じます。



(3)左 食器洗い乾燥機の設置事前準備(国産浅型食器洗い乾燥機プラン・食洗機なしのプランの場合)
※台輪着脱可能部分の取り扱いを含む

- ①ベニヤ板・スペーサーの取り外し
(前項の②-5で取り外してあるため手順対象外です)

- ②台輪着脱可能部分の取り扱い
(1)の①で台輪着脱可能部分を取り外していた場合については取り付け直してください。



※国産食器洗い乾燥機の配管作業は
台輪着脱可能部分を取り付けたまま
行うことができます。

⚠ 注意

台輪着脱可能部分を取り付けている金物は乱暴に扱うと変形・破損の恐れがあります。 ⚠

上記の作業手順を確認する等、丁寧な取り扱いをお願いいたします。

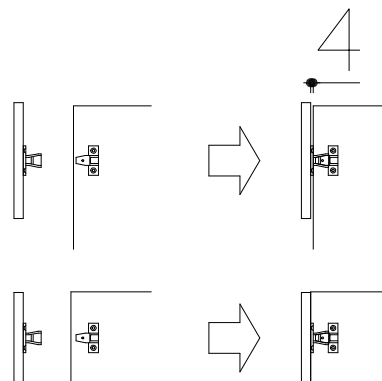
着脱可能部分の取り付け方について

シンクベースのFIX扉・台輪着脱可能部分に固定されている取付金具(メス)を、シンクベース本体・台輪本体に固定されている取付金具(オス)にはめ込むことで固定することができます。

取付時に押し込む必要がある箇所等はないので、真っ直ぐ対象に押し込んでください。

※シンクベースのFIX扉は戸当たり分の4mm隙間が出来る形で取りつきます。

※一方、台輪については着脱可能部分が本体に隙間ない形で取りつきます。



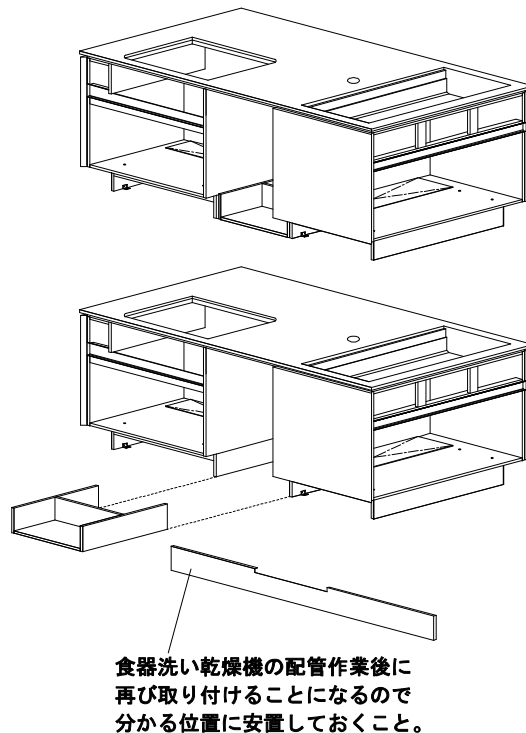
(3)左 食器洗い乾燥機の設置事前準備(海外食器洗い乾燥機プランの場合)

※台輪着脱可能部分の取り扱いを含む

- ①ベニヤ板・スペーサーの取り外し
台輪からスペーサーを取り外します。
※外したスペーサーとビスは
以後使いませんので
破棄してください

- ②台輪着脱可能部分の取り扱い
(1)の①で取り外した
台輪着脱可能部分については
配管作業の際には外す必要が
あるので、外したままにします。

※配管作業後には
再び取り付けることになるので
分かる位置に安置してください



⚠ 注意

台輪着脱可能部分を取り付けている金物は乱暴に扱うと変形・破損の恐れがあります。 **!**

上記の作業手順を確認する等、丁寧な取り扱いをお願いいたします。

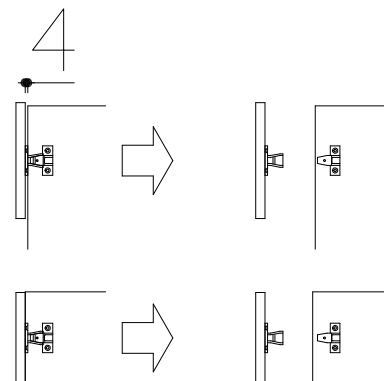
着脱可能部分の取り外し方について

シンクベースのFIX扉・台輪着脱可能部分に固定されている取付金具(メス)を、シンクベース本体・台輪本体に固定されている取付金具(オス)から外すことで固定を解除できます。

取り外し時に押し込む必要がある箇所等はないので、真っ直ぐ取り外してください。

※シンクベースのFIX扉は戸当たり分の4mm隙間があるので、そこに平バール等を入れて平行に取り外してください。

※一方、台輪については着脱可能部分が本体に隙間ないので、平バール等で工夫し差し入れて入れて平行に取り外してください。



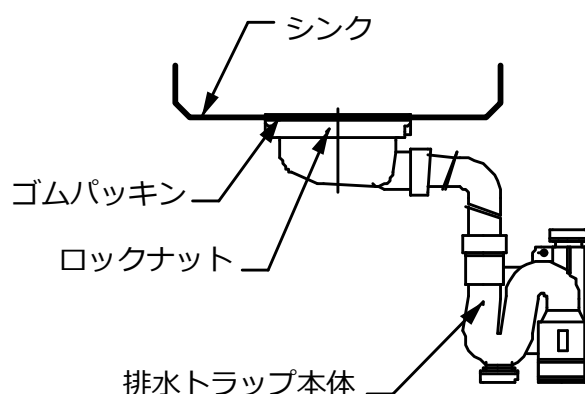
(5) 排水トラップ・排水ホースの取付(全プラン共通)

①排水トラップの取付

シンク排水口穴に排水トラップを取付け、締付工具でロックナットを締め付けしてください。

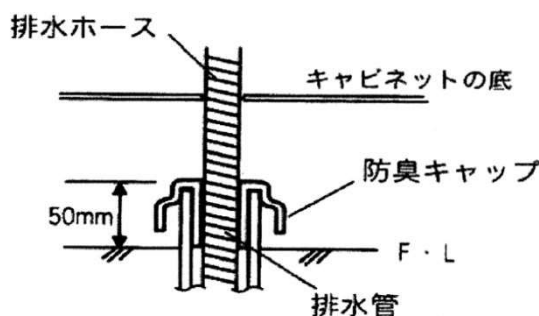
(注意)

- 1).締付工具は製品に含まれておりませんので、別途ご用意ください。
- 2).ゴムパッキンはシンク内に位置するように取付けてください。



②排水ホースの取付

- 1).シンクキャビネット内の配管スペースのフタに排水ホース用の穴(約φ40)および給水・給湯管用の穴を開けてください。
- 2).排水ホースに防臭キャップを通して、床面より立上げされている配水管に挿入してください。
- 3).排水管と防臭キャップを確実にはめ込んでください。



⚠ 注意

排水管の立上げ位置は、別途キッチンの設備図を参照し位置決めを行う。



接続不良や排水能力の低下により、漏水やシンクから水があふれる恐れがあります。

排水管の接続後、水漏れがないことを確認する。



水漏れにより、床が腐る恐れがあります。

(6) 各設備機器類の取付(全プラン共通)

- 各機器の取付は、機器に同梱の取付・設置説明書に従って取付けてください。

 注意

取り付けする機器類は、それぞれの取付説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく取り付けしてください。



思わぬ事故や故障の原因となる恐れがあります。

3.開き扉・引出等の調整方法

(1) 開き扉の調整方法 ※扉の吊元がコンセント開口付サイドパネル側ではない扉

- 扉の調整は、丁番で行うことができます。
調整する際は、プラスドライバーを使用して以下の要領で行ってください。
下図の丁番のネジ①②③をまわして調整してください。



● 左右調整（扉の目地をそろえる）



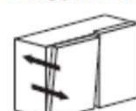
①のネジを右にまわすと外方向に、左にまわすと内方向に動きます。

● 上下調整（扉の上下の片寄りを直す）



②のネジをまわして、扉の上下調整をしてください。

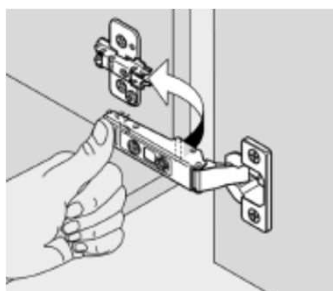
● 前後調整（扉の前後の傾きを直す）



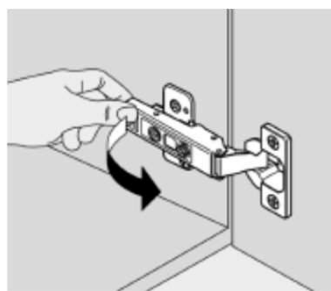
③のネジをまわして、扉の前後調整をしてください。

(1)-1. 丁番の取付け・取り外し

● 取付け



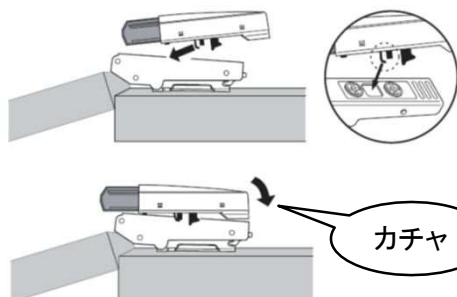
● 取り外し



(1)-2. 丁番ブルモーションの取付け・取り外し

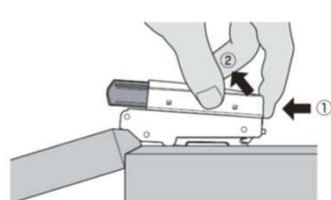
● 取付け

ブルモーション下部の爪を丁番の長方形の穴に当て、手前側に押しはめてください。



● 取り外し

ブルモーション先端部を持ちながら、手前に引いてください。



⚠ 注意

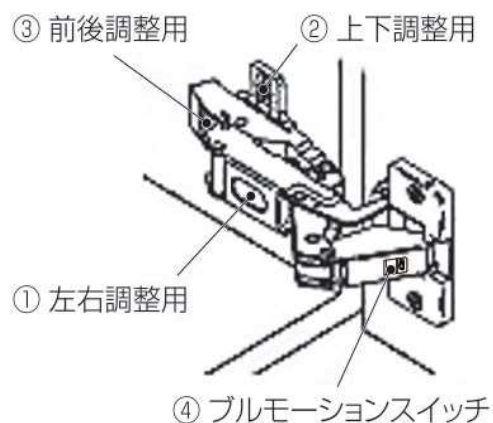
調整後、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉が落下して、けがをする恐れがあります。



(2) テーパー付き開き扉の調整方法 ※扉の吊元がコンセント開口付サイドパネル側の扉

- 扉の調整は、丁番で行うことができます。
調整する際は、プラスドライバーを使用して以下の要領で行ってください。
下図の丁番のネジ①②③をまわして調整してください。



● 左右調整（扉の目地をそろえる）



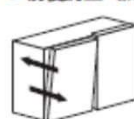
① のネジを右にまわすと外方向に、
左にまわすと内方向に動きます。

● 上下調整（扉の上下の片寄りを直す）



② のネジをまわして、扉の上下調整
をしてください。

● 前後調整（扉の前後の傾きを直す）



③ のネジをまわして、扉の前後調整
をしてください。

(2)-1. 丁番の取付け・取り外し

● 取付け

(1)-1と同様の手順で可能です

● 取り外し

(1)-1と同様の手順で可能です

(2)-2. 丁番プルモーションの取付け・取り外し

● 取付け・取り外し

金物に機能として含まれているため取り外しが出来ません。

※工場出荷時に調節済のため触らないでください

⚠ 注意

調整後、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

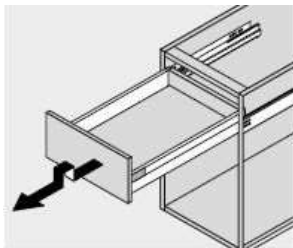
扉が落下して、けがをする恐れがあります。



(3) 引出の調整方法(タンデムアンタロレール:コンロキャビネット小引出を除く)

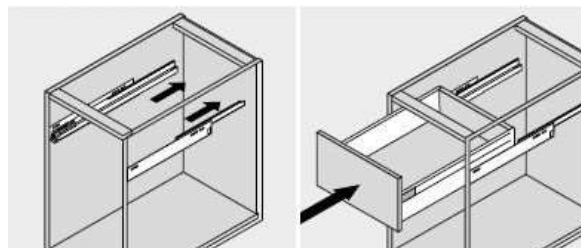
①引出の取り外し

引出を全開まで引き出した後、上に持ち上げます。



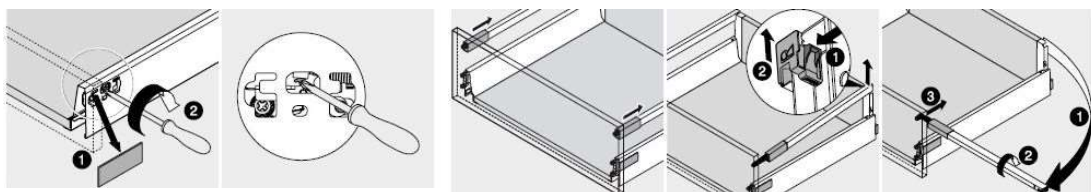
②引出の取り付け

キャビネット内のレールを奥に戻します。その状態から、引出をレールの上に乗せて、そのまま奥まで入れます。一旦、手前に全開に引き出して、引出を下側に押して外れがないかを確認します。



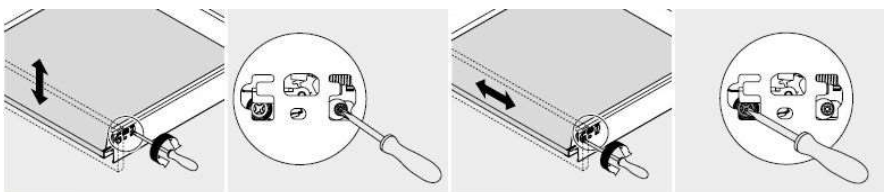
③扉およびサイドギャラリーの取り外しと取り付け

引出底板裏面に、たわみ防止の金具が固定されていますので、まずはその金具を外します。サイドカバーを外して、下記図の要領で扉を外します。サイドギャラリーは、扉側のグレーキャップを後ろにずらし、引出背板側の固定部のつめを押しながら斜めに引き上げて外します。取付けは、上記順番を逆に行い取り付けを行う。



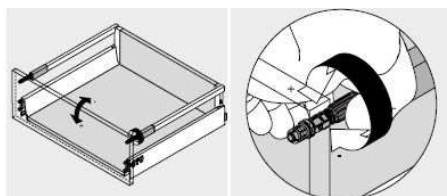
④扉の調整

引出底板裏面に、たわみ防止の金具が固定されていますので、まずはその金具のネジを緩めます。サイドカバーを外して、下記図の要領で扉の調整を行います。調整が完了したら、たわみ防止金具のネジを再度締めなおします。



上下調整

左右調整



傾き調整

⚠ 注意

引出を取り外す際には引出内の収納物をすべて出し、必ず引出に両手を添えて取り出す。



引出や収納物が落下して、けがをする恐れがあります。

(3) 引出の調整方法 (iBOXレール:コンロキャビネット小引出)

①引出の取り外し・取り付け

引出を全開まで引き出した後、上に持ち上げます。

(ローラー式レールのため、斜めに引き上げるとそのまま外せます。)

②扉の調整

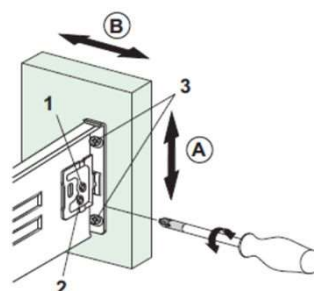
サイドカバーを外して、下記図の要領で扉の調整を行います。

上下調整は、右図の1番ネジを緩め、2番の偏芯ネジを

まわして調整します。調整後は、1番ネジを締めて固定します。

左右調整は、右図の3番ネジを緩めて扉を左右に調整します。

調整後は、3番ネジを締めて固定します。



⚠ 注意

引出を取り外す際には引出内の収納物をすべて出し、必ず引出に両手を添えて取り出す。



引出や収納物が落下して、けがをする恐れがあります。

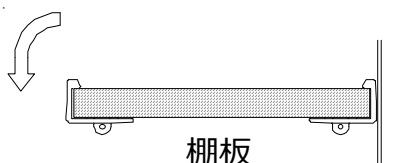
(4) 棚板の調整方法

①棚板の取り外し

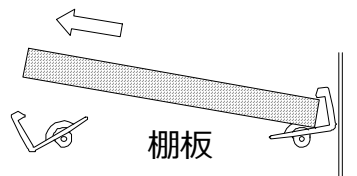
取り外しを行う棚板および周辺の収納物を一旦開きベースから出します。

棚板手前を固定している棚ダボ(受け)を斜めに引き下げて、L字部分(引っ掛かり部)を外し、棚板を手前に引き抜きます。

※手前に引き抜いてください。



棚板



棚板

②棚板の取り付け

棚ダボ(受け)を希望の高さ位置に合わせて、棚板奥側からはめ込んで、取り付けをします。

棚ダボは、L字形になっていますので、棚板がL字に引っかかるように取り付けしてください。

⚠ 注意

棚板の位置を変える際には、その棚板上の収納物だけではなく、キャビネット内の収納物すべてを降ろしてから行う。



収納物が落下して、けがをする恐れがあります。

棚ダボ(受け)は、4ヶ所同じ高さ(位置)にセットする。



棚板が安定せず、棚板上の収納物が落下して、けがをする恐れがあります。

4.各設備機器類の配管、ガス、水道、電気工事

●各機器の取付・設置は、機器に同梱の取付・設置説明書に従って取付けてください。

- ①レンジフード
- ②ビルトインコンロ(ガスコンロ・IHクッキングヒーター等)
- ③食器洗い乾燥機
- ④水栓金具



警告

ガス、水道、電気工事については、各工事の「有資格者」が工事を行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

6

仕上げ

- (1) ワークトップと壁面間のシール
本商品では対象外です。

- (2) コーキングについて

 警告

シリコンで埋める場合、部位によって内装工事となる場合があります。
建築壁とカウンターの間は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う。


 注意

カウンターと壁またはエンドパネルの合わせ部はシリコンを充填する。



埋め方が不完全な場合、水こぼれでユニットやエンドパネルおよび床や壁を傷める恐れがあります。

- (3) 清掃

- シンク内のごみや異物を取り除いてください。
- ちょっとした汚れは柔らかい布で軽くふいてください。
- 汚れのひどい時は、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて軽くふいていただいた後、軽く水ふきしてください。水ふき後は、必ず乾いた布でふきとってください。

 注意

設置後に使われる溶剤、その他薬品類はそれぞれの注意表示にしたがって正しく使う。



誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

硫酸・塩素系の強酸類や、その他の薬品類は絶対に使用しない。



変色・変質・変形・破損等の原因になります。

お願い

清掃をする場合、台所用中性洗剤を使用してください。



その他の洗剤およびベンジン、シンナーなどを使用すると、変色、変質の原因になります。また、洗剤を使用した後は水でしっかりと流してください。

7

点検

(1) 安全点検

設置完了後、必ず各部の点検を行い異常のないことを確認してください。

《点検のポイント》

- ワークトップとキャビネットは、しっかり固定されていますか。
- 開き扉・引出前板にガタつき・傾きはありますか。
- 棚ダボ(受け)は根元までしっかり押し込まれていますか。

(2) 組込機器の試運転

製品に組み込まれている機器類について、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

8

完了後の処置

(1) 製品の養生について

製品はお引き渡しまでの間、傷や汚れがつかないようにダンボール等で養生してください。

(2) 取扱説明書の保管・引き渡し方法

製品および組込機器等の取扱説明書は、取りまとめてキャビネット内に集約(保管)し、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

9

残材処理

(1) 梱包材その他残材の処理

不用部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。